

教育課程実施状況調査 小学校 第6学年 社会

実施児童数 (人)	設問数 (問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国 (ポイント)
553	28	61.8	62.8	-1.0

		県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土の自然などの様子	59.6	62.6	-3.0
	農業や水産業	54.6	55.5	-0.9
	工業生産	69.3	69.9	-0.6
	産業と情報の関わり	64.2	65.9	-1.7
	国土の自然環境と国民生活	64.3	62.3	2.0
観点	知識・技能	65.6	65.7	-0.1
	思考・判断・表現	55.8	58.4	-2.6
	主体的に学習に取り組む態度	56.8	59.6	-2.8
解答形式	選択式	65.2	66.4	-1.2
	短答式	53.1	54.7	-1.6
	記述式	46.9	45.3	1.6

設問別正答率														
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県平均 正答率 (%)	全国 平均正 答率 (%)	全国との差 (ポイント)	
		知	思	態	国土	農水	工業	情報						環境
1	選択	○			○					世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解している。	80.5	79.1	1.4
2	選択	○			○						韓国の位置について理解している。	88.4	85.0	3.4
3	短答	○			○						日本の領土の範囲について理解している。	55.9	58.7	-2.8
4	選択	○			○					日本の国土と人々の暮らし	日本の主な地形の名称と位置について理解している。	30.6	35.2	-4.6
5	短答	○			○						日本の主な地形(湖)の名称を理解している。	57.5	67.9	-10.4
6	選択		○	○	○						日本の気候の特徴について、雨温図をもとに判断している。	44.8	49.7	-4.9

7	選択	○						日本の農業	資料をもとに、米づくりに適した気候について考えている。	48.1	43.9	4.2
8	選択	○						日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解している。	81.2	83.8	-2.6
9	選択	○						日本の水産業	日本近海の漁獲量の多い港の特徴について、資料を読み取っている。	54.1	49.5	4.6
10	選択	○	○					日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断している。	91.1	90.3	0.8
11	選択	○		○				日本の食料生産	日本の食料生産の理解をもとに、資料を読み取っている。	37.4	34.5	2.9
12	選択	○	○						食品を購入するときの基準について、場面に即して判断している。	68.0	70.9	-2.9
13	短答	○							食料自給率について理解している。	28.4	33.7	-5.3
14	選択	○	○						日本の食料生産について、適切な資料を判断している。	28.2	37.5	-9.3
15	選択	○						自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解している。	86.8	89.3	-2.5
16	選択	○							自動車工場を支える関連工場について理解している。	64.9	65.5	-0.6
17	記述	○	○						自動車の海外生産について、資料をもとに表現している。	27.8	26.3	1.5
18	選択	○						日本の工業生産	工業製品の分類を理解している。	88.2	92.4	-4.2
19	短答	○		○					日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめている。	82.5	85.0	-2.5
20	記述	○	○						日本の工業の特色について、資料をもとに表現している。	66.0	64.2	1.8
21	選択	○							日本の貿易について資料を読み取っている。	69.1	66.5	2.6
22	選択	○						情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解している。	89.2	89.6	-0.4
23	短答	○							マスメディアについて理解している。	41.0	28.4	12.6
24	選択	○							情報の発信と受信の注意点について考えている。	61.3	67.7	-6.4
25	選択	○	○						販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断している。	65.3	78.0	-12.7
26	選択	○						自然環境と国民生活	間伐について理解している。	79.4	73.3	6.1
27	選択	○							国内の林業が抱える課題について考えている。	45.4	42.2	3.2
28	選択	○							沖縄県での自然環境を守る取り組みについて考えている。	68.0	71.4	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は下記の通りです。

(知)知識・技能 (思)思考・判断・表現 (態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子 (農水)農業や水産業(工業)工業生産

(情報)産業と情報との関わり (環境)国土の自然環境と国民生活

【比較的できている設問】

通し番号	問題内容	出題のねらい	観点	解答形式
1	世界の中の国土	オーストラリアの位置と国旗を理解しているかどうかをみる。	知識・技能	選択
2		韓国の位置について理解しているかどうかをみる。		選択
8	日本の農業	耕地整理(圃場整理)について理解しているかどうかをみる。		選択
15	自動車をつくる工業	自動車の製造工程について理解しているかどうかをみる。		選択
18	日本の工業生産	工業製品の分類を理解しているかどうかをみる。		選択
19		日本の主な工業地帯・工業地域の出荷額をグラフにまとめているかどうかをみる。		短答
22	情報を生かした産業	さまざまなメディアの特徴について理解しているかどうかをみる。		選択
10	日本の水産業	水産物の流通の工夫について、資料をもとに判断しているかどうかをみる。	思考・判断・表現	選択

【課題がある設問】

☆次のページに「通し番号14、25」に関連した具体的な授業例を提示

通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
4	30.6	35.2	-4.6	知識・技能	選択
問題の内容	日本の国土と人々の暮らし				
出題のねらい	日本の主な地形の名称と位置について理解しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の国土の様子と国民生活について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本の地形や気候にはどのような特色があるか」、「人々は地形条件や気候条件をどのようにいかしているか」等の問いを設けて、個々の児童が、調べたり、国土の位置と地形や気候を関連付けて国土の特色を考えたり、国土の自然環境と国民生活の関連を考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の国土の地形や気候の概要について理解を目指すような展開が考えられる。また、教科用図書「地図帳」の使い方を適切に指導し、児童が個々の調べ学習において必要に応じて主体的に地図帳を活用できる等、各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能の獲得を目指すような指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
14	28.2	37.5	-9.3	思考・判断・表現	選択
問題の内容	日本の食料生産				
出題のねらい	日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	日本の食料生産について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、我が国の食料生産が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、資料をもとに根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				
通し番号	県平均正答率(%)	全国平均正答率(%)	全国との差(ポイント)	観点	出題形式
25	65.3	78.0	-12.7	思考・判断・表現	選択
問題の内容	情報を生かした産業				
出題のねらい	販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかどうかをみる。				
学習の指導に当たって	産業における情報活用の現状について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「その産業ではどのような情報を集めているか」、「情報をどのように活用しているか」等の問いを設けて調べ、情報を活用した産業の変化や発展と人々の生活の利便性の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、文章で記述したり、根拠や理由を明確にして議論したりするような展開が考えられる。また、小学校学習指導要領解説社会編の参考資料に示されている、「社会的事象について調べまとめる技能」を踏まえ、発達段階に合わせた技能習得に向けた繰り返しによる指導が大切である。				

教科の見方・考え方を働かせ、 資料の読み取りの技能等を身に付け、自ら学ぶ児童

こんな姿を
目指したい！

課題がある設問（通し番号 14、25）

- 日本の食料生産について、適切な資料を判断しているかをみる問題。
- 販売の仕事での情報の活用について、資料をもとに判断できるかをみる問題。

分析と課題

- 資料（地図やグラフ）の読み取り等の技能の定着に課題がある。
- 多角的な考察に課題がある。

課題改善のために…

- 身に付けさせたい資質・能力の明確化
- 社会的事象の見方・考え方を働かせた問題解決的学習の実施
 - ・複数の資料の関連付け・多様な意見に触れる機会・学習者主体の学びの視点からの学習過程の工夫



日々の学習における改善・充実

全学年(3~6年)の学習で…

社会科において、児童が課題を追及したり解決したりする活動、(中略)

調べたり思考・判断したり表現したりしながら課題を解決する一連の学習過程

⇒問題解決的な学習過程を充実させることが重要である

児童が調べ学習をする際に…



このグラフは何を表したグラフですか？
縦軸は？ 横軸は？
1メモリは？ ここの値は？…

まずは読み取り方を指導する

その際…

◎複数の資料を関連付けることも意識する



これら二つのグラフを比べてみると
・結び付けてみると・まとめてみると
どのようなことがわかりますか？

◎児童が自分の力で資料を読み取る



収集した情報を社会的な見方・考え方に沿って読み取ることができるか？



- ・出来事やその時期、その推移などの前後関係を読み取る
- ・位置関係や形状、分布などを読み取る 等

※小学校学習指導要領解説社会編 P152を参照するとよい

課題解決のための資料の読み取りであることを意識

児童が思考したり判断したりする際に…

◎多角的な考察が重要となる

そのために…

◎教師の意図的な発問・言葉かけ



みなさんお買い物はしたことがありますか？
お店に関わる人ってどんな人がいるでしょうか。
『〇〇にとって「いいお店」とは？』〇〇には何が入りますか？

それぞれについて調べてみましょう

お客さん



商品を運ぶ人

働く人



地球環境

◎対話をして多様な意見に触れること

お客さん側からの意見→

お店側からの意見

A とにかく安い
お店がいいよ

B ほしいものがある
お店かな

C たくさんお客さんが
来てくれるお店かな

Cの児童の意見を取り上げる等して多角的な考察へつなげ…

お客さんの願いがお店の工夫や努力とつながっているんだ！

いつでも多角的に考える意識

教科の見方・考え方を働かせよう！

資料の読み取りの技能等を身に付けよう！

ここが
Point